

喜界町の魅力ポイント

■ 面積 56.94km² ■ 人口 約6,700人 ■ 指定地域 奄美

■ サンゴ礁が隆起してできた喜界島

- ・町内ではサンゴで出来た石垣や灯籠が見られる
- ・展望スポットの「テーブルバンタ」からは年代ごとのサンゴ礁段丘が一望できる
- ・日本で唯一のサンゴ礁研究に特化した研究所が立地。サンゴ留学といった制度もある

■ 農業が盛ん、国内一の白ゴマの産地

- ・サトウキビ畑の中をまっすぐに伸びる全長約3.5kmの「シュガーロード」
- ・生産量日本一の白ゴマや島固有の柑橘類、ソラマメを栽培。加工も町内で行う
- ・地下ダムの整備により、ブロッコリーやカボチャなどの作物の栽培も増加

■ 独自の文化・自然が残る島

- ・奄美十景のひとつで、隆起サンゴ礁の高台である「百之台公園」
- ・島一番のパワースポットである巨大ガジュマル



喜界町の課題等

■ 政策分野 関係人口創出

- 人口減少による産業の衰退、宿泊施設や空き屋、交通手段など、関係人口創出に関わる受け皿不足が進んでいる。また、近隣地域と差別化を図り、有効な情報発信をどのように行うかが課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 22年9月に、応援隊と喜界町の各課若手職員、地域おこし協力隊、地元の観光業者でPTを結成。
 - オンライン会議をつき1回程度実施し、意見交換をしながら活動。
- 現地訪問 22年10月、23年2月（23年8月は台風で訪問できず）
 - 各地域の集落長との意見交換や、来島者等へのアンケートを実施。



取組の成果

- 来島者等へのアンケートや、島内関係者との情報交換を通じ、今後の関係人口増に向けた施策の方向性の検討を進めた。

今後の展望

- 関係人口の創出に向け、公民館等を交流スペースへ整備する等の施策検討を進め、受け皿不足の解消に取り組んでいく。